

登録コード:MH171400 開講年度:2026		授業科目区分	保健師コース 必修
科目名	公衆衛生看護管理論【20M～24M】 Public Helth Nursing Administration		
担当教員	五十嵐 久人 他 石田 史織・富澤 真澄		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/ 4 年 後期(前半) 月曜・ 5 時限		
単位数、講義室	1 単位	保健学科 2 2 1 講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	非該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH22カリ・保健、MH20カリ・保健		
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。	公衆衛生看護に特化した管理の実際を理解することができる。	
	MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	公衆衛生看護に特化した管理に必要な知識を習得し、多様な課題解決に向けた対策を検討することができる。	
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		
	保健師として科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と個人・集団・地域に応じた健康問題の解決に向けて取り組む力が身についている。		
授業で学べる「テーマ」	地域運営、健康長寿、防災減災		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	看護管理の中で、公衆衛生看護に特化した管理の実際について学び、理解することを目的とします。 男女共同参画に関する内容を含み、担当教員の保健師として、および各専門分野のゲストスピーカー（行政職、医師、保健師等）の実務経験を活かして講義を行います。 本授業は、これまでに学んだ各領域の授業内容を基礎として、地域での支援方法を検討するものです。		
授業計画	第1回（ 9月28日）公衆衛生看護管理とは 第2回（10月 5日）地域管理 第3回（10月14日）保健師記録の書き方 演習 1 第4回（10月19日）保健師記録の書き方 演習 2 第5回（10月26日）事例検討 演習 1 第6回（11月 2日）事例検討 演習 2 第7回（11月 9日）キャリアシミュレーション 第8回（11月16日）まとめ 授業アンケートの実施		
授業の進め方	授業は、スライドと配付資料に基づき進めて行く。ゲストスピーカー（県・市町村保健師等）からの講義やグループワークにより進める。		
テキスト，教材，参考書	エッセンシャルズ地域看護学 医歯薬出版 標準保健師講座 公衆衛生看護技術 標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動 国民衛生の動向		
成績評価の方法	各講義ごとに小レポートによる評価を行う。1レポートを20点とし140点満点で粗点を出す。その後100点に換算し評価点の総計が60点以上を合格とする。		
成績評価の基準	公衆衛生看護の基礎を学習した後に実施する教科であり、応用的な思考と積極的な態度を評価する。発表内容およびレポートは、(i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，「卓越している」秀。(i) から (v)の 5 項目を満たし「かなり上にある」優。4 項目までできていれば「やや上にある」良。3 項目までできていれば「水準にある」可。 秀：100 - 90点 優：89 - 80点 良79 - 70点 可69 - 60点		
事前事後学習の内容	【事前学習について】 次回の授業内容に該当する分野について教科書、参考書や実習の資料などを読み、予習しておく。 【事後学習について】 授業の中で興味をもった内容や自身の中で理解が不十分と感じた内容について教科書、参考書、講義で配布された資料などを読み、知識を深める。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）＋ 自己学習時間30時間（4時間×7.5回）＝ 45時間 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。		

学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	ゲストスピーカーとの調整により日程が変更になることがあります。日程の詳細は改めて連絡します。 また、科目を担当する教員は学外指導等で不在となることが多いので、あらかじめe-mailか電話で在室をご確認ください。 質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp 石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp 富澤真澄 masumitmzw@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 五十嵐久人研究室 随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 石田史織研究室 随時（要事前連絡） 保健学科中校舎3階 看護助教・助手研究室
-----------------------------------	--